



2026年6月18日

日本鉄道労働組合連合会

## 安全の確立を基礎に JR連合第36回定期大会 JR連合への総結集と政策課題の解決・前進を図り、 JR産業の持続的成長と組合員・家族の幸せを実現しよう!

J R 連 合 は 6 月 17 日、京 都 テ ル サ に お い て 第 36 回 定 期 大 会 を 開 催 し た。会 場 に は 代 議 員 及 び 傍 聴 者 な ど 約 200 人 が 参 集 し、熱 心 か つ 真 摯 な 討 議 を 行 い、2026 年 度 の 運 動 方 針 を 満 場 一 致 で 決 定 し た。

大 会 成 立 確 認 の 際、女 性 の 参 画 率 も 発 表 さ れ、役 員 ・ 代 議 員 を 合 わ せ た 女 性 の 割 合 が 女 性 の 組 合 員 比 率 を 初 め て 超 え た こ と が 確 認 さ れ た。

冒 頭、上 村 良 成 会 長 は、安 全 確 立、組 織 強 化 ・ 拡 大、男 女 平 等 参 画 推 進、産 業 政 策 課 題、春 季 生 活 闘 争、労 働 政 策、政 治 な ど に つ い て 提 起 し た。

来 賓 と し て 連 合 の 芳 野 友 子 会 長、交 運 労 協 の 池 之 谷 潤 議 長 ら を お 招 き し、そ れ ぞ れ よ り ご 挨拶 を 賜 っ た。芳 野 会 長 か ら は、女 性 の 割 合 が 目 標 を 達 成 し た こ と に つ い て 「大 変 心 強 く、頼 も し く 思 う」と の 言 葉 を い た だ い た。

議 事 で は 昨 年 度 の 経 過 を 報 告 す る と と も に、安 全 確 立、組 織 強 化 ・ 拡 大、産 業 政 策、労 働 条 件 向 上、政 治 と の 連 携 な ど の 新 年 度 の 運 動 方 針 と あ わ せ、「安 全 指 針」改 訂 に 向 け た 素 案 と 「第 5 次 男 女 平 等 参 画 行 動 目 標」が 提 起 さ れ た。12 名 の 代 議 員 ・ 特 別 代 議 員 か ら 質 疑 ・ 発 言 が あ り、執 行 部 か ら 答 弁 の 後、全 て の 議 案 を 満 場 一 致 で 可 決 し た。

最 後 に 上 村 会 長 の 力 強 い 「団 結 が ん ば ろ う」で 新 年 度 を ス タ ー ト さ せ た。

<添付資料> 大会宣言



J R 連 合 上 村 会 長



連 合 芳 野 会 長



交 運 労 協 池 之 谷 議 長



# 大会宣言

私たちは本日、「京都テルサ」で第36回定期大会を開催し、2026年度の運動方針を満場一致で決定した。

JR連合は、「JR連合ビジョン」で示した‘めざすべき労働組合の姿’を徹底して追求しつつ、様々な変化に機動的に対応し、産業の持続的な成長を実現していくとともに、運動の‘見える化’を進め、組織の強化・拡大と「JR連合への総結集」を実現する。そして、関係主体へのアプローチを強め、関係者が相互理解を深めて連携・協働を図れるよう、中長期的な視点をもって最適解を見出していく営みを粘り強く展開する。

安全の確立については、本年度で発生から21年を迎えた福知山線列車事故をはじめとする重大事象から得た教訓を風化させず、悲劇を絶対に繰り返さない決意のもと、「すべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロ」を最重点テーマに掲げ、労使で真摯に再発防止に向けた議論を積み重ねる。死亡労災や重大労災、不安全事故が後を絶たない状況に対しチェック機能を強化するとともに、安全シンポジウムと連動させつつ「安全指針」の改訂を行い、エリア連合やグループ労組連絡会とも連携し、組合員の安全に対する意識を高め、職場から安全を創り上げていく。

組織の強化・拡大については、働く仲間に徹底して寄り添うとともに、労使の信頼関係を構築して諸課題の解決を果たすことのできる労働組合の重要性を発信する。民主化当該単組における組織拡大に向け、地方協議会との連携をより深度化するとともに、グループ会社などを含め「JR連合への総結集」をめざし、全力を挙げる。本大会に提起した「第5次男女平等参画行動目標」を基に、JRグループ労組連絡会とさらに連携を深め、効果的に女性役員をフォローできる仕組みを構築する。

産業政策については、JR発足から40年が経過するこの機に、時代を見据え、骨太で責任ある提言を発信・深度化するとともに、内外に理解と共感を広げる取り組みを積み重ねる。とりわけ、「JR二島・貨物会社の経営自立実現」と「高速鉄道・新幹線ネットワークの構築・計画推進」を重点課題とし、連合や交運労協、政治・行政や関係会社などの関係主体と課題認識を共有するためにも、「JR連合重点政策集2027-2028」を策定する。

政策の実現のために必要な、政治・行政との連携については、政治情勢が大きく変化する現状を踏まえ、各種選挙においてJR連合地方議員団連絡会や国会議員懇談会、「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」に所属する理解ある組織内候補・推薦候補の勝利に全力を挙げる。

労働政策については、JR産業で働く者にとって相応しい労働条件・環境の構築に向け策定・共有してきた「中期労働政策ビジョン」に掲げる目標を実現するため、中長期的視点に立った取り組みを積み重ねる。とりわけ、JR産業を支え、形作る多様な「人財」が生き活きと意欲高く成長しながら働き続けることのできる労働条件・環境を改善・向上させ、制度や運用の変更、業務内容や働き方の見直しなどにつなげる取り組みを推進する。2027春季生活闘争についても、人財の確保・定着に加え継続性も意識しつつ、社会と他産業の動向も注視しながら関係単組と丁寧な議論を交わし、方針の策定に取り組む。

JR産業で働くすべての仲間の信頼を獲得し、JR連合への総結集を果たすためにも、自らの職場実態に目を向け、働く者の声を聴き、動くとともに、政策課題の解決・前進に向けた取り組みを内外に発信し、JR産業のすべての企業との間で信頼関係を築き、確かなものとしていく。そして、組織の強化・拡大、民主化闘争を前進させ、安全を確立し、JR産業の持続的な成長と組合員・家族の幸せ実現につなげていく。

以上、宣言する。

2026年6月17日

日本鉄道労働組合連合会（JR連合）  
第36回定期大会